

2020 年度の競技会について

2020 年 7 月 8 日

公益社団法人 日本ダンス議会 (JDC) 西部総局

局長 山本恭大

JDC は公益社団法人として、前年度に事業計画案と予算案を内閣府に提出し、それを受けて次年度（当該年度）の事業日程を告知いたします。

通常 6 か月前（全日本クラスの競技会は 1 年以上前）から準備に取り掛かり 3 か月前までには大会要項の発表とエントリーの受付を開始しております。

今般コロナウイルスの感染拡大を受けまして事態の推移を見守りつつ競技会開催に向けて尽力してまいりましたが、残念ながら安全面は元より準備面の確保を考慮し、2 か月前をめぐり判断した結果、8 月未までの競技会を中止（一部延期）といたしました。

この度非常事態宣言の解除を受けまして 9 月以降の競技会につきましては原則開催として通常通りに準備を進めるように各大会実行委員長に指示を出したところです。

選手として或いは観客としてどのように準備対応しておけば良いのかという問い合わせが有りましたので、JDC としての活動指針を述べさせていただきます。

大きな災害や今年度のコロナ渦のような社会的に開催の是非を問わなければならないような事態の場合は中止・延期の判断も止むを得ませんが、そのような告知の無い競技会については今後も原則開催であるとして準備をお願いいたします。

また、現在のような「第 2 波がくるかもしれない」とか「地域で集団感染が突然発生するかもしれない」などの現実には起こっていないのに不安が収まらないという状況下では、特に大きな大会について期日を設けて開催の可否の再確認をすることにいたしました。

10 月 18 日の「JDC 全日本プロフェッショナルダンス選手権大会」は、あらゆる準備を進めた上で 8 月初旬の本部会議において改めて状況を精査し、安全面・準備面に問題が無いと判断されればそこから各種申し込みや販売などを行います。

もちろん、直前になって社会状況が深刻な悪化に陥る場合や、大きな災害が発生した場合には社会観念に基づいて縮小・延期・中止などの判断を緊急にせざるを得ませんが、それは自然を制圧できない以上は常に起こり得ることですので、まずは上記趣意をご理解の上、準備を進めていただけるようお願い申し上げます。